

第3回 いじめ防止対策に関する関係省庁連絡会議（令和6年3月22日）

こども家庭庁のいじめ防止対策

1. 施策の目的

- いじめを政府全体の問題として捉え直し、こども家庭庁、文部科学省など関係府省の連携の下、こども家庭庁が学校外からのアプローチによるいじめ防止対策に取り組むことで、学校におけるアプローチ等と相まって、いじめの長期化・重大化防止、重大事態の対処の適切化を推進。

2. 施策の内容

【(1) 学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の開発・実証(197百万円)】

学校外からのアプローチによるいじめ防止対策の推進に向け、①～②の取組を一体的に実施。

① 実証地域（自治体の首長部局）での開発・実証

自治体の首長部局において、専門家の活用等により、学校における対応のほかに、いじめの相談から解決まで取り組む手法等の開発・実証を②と連携して行う。

（開発・実証のイメージ）

- ・相談対応のみならず、首長部局がいじめ解消まで関与する取組であること
 - ・関係部局・関係機関との連携体制を構築していること
 - ・②と連携し、取組効果が検証可能な形で進めること
 - ・ICTの活用など、円滑な相談がしやすい体制を構築していること
- ※一部民間事業者を活用することも可

② 実証地域への専門的助言や効果検証及び研修コンテンツの作成

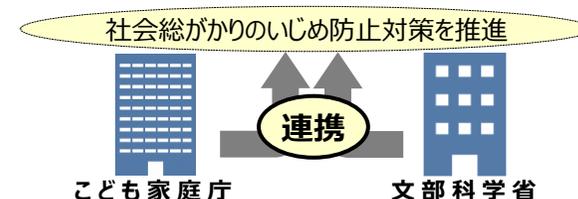
各実証地域における①の取組への専門的助言や効果検証の伴走支援、汎用モデル化及び首長部局の担当者向けの研修コンテンツを作成

【(2) いじめ調査アドバイザーの任命・活用(3.5百万円)】

- ・重大事態調査を立ち上げる自治体に対し、第三者性確保等に関して、学識経験者等の専門家が助言
- ・再調査事例の分析等を通じた重大事態調査の運用改善等

【その他】いじめ防止に係る広報・啓発 など

契約自治体
旭川市、松戸市、伊勢市、堺市、
八尾市、箕面市、福岡県、熊本市



(公社) 子どもの発達科学研究所
に委託

9月5日付で8名の専門家を
いじめ調査アドバイザーとして委嘱

学校におけるアプローチの強化
と相まって、いじめの長期化・重
大化防止の首長部局における
取組をモデル化

いじめ防止対策推進法に基づく適切な対応と
相まって、重大事態に至った事案の適切な対
処を推進

3. 実施主体・委託先等

(1) ①実証地域（首長部局）での開発・実証

【委託先】 都道府県、市区町村（箇所数：8自治体程度）

②実証地域への専門的助言や効果検証及び研修コンテンツの作成

【委託先】 民間団体等（1団体）

(2) いじめ調査アドバイザーの任命・活用

【実施主体等】 国が専門家に委嘱

令和5年度「学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに 向けた手法の開発・実証」各自治体の事業計画（主な取組）

団体名	主な取組
北海道 旭川市	令和5年4月に市長部局に創設された「いじめ防止対策推進部」において、相談窓口を設置し、こどもや保護者からの相談に直接対応。
千葉県 松戸市	市長部局にいじめ相談専用窓口を開設し、専門職による相談体制を構築。SNSを活用し、休日夜間も相談対応。
三重県 伊勢市	市長部局に「こどもいじめ相談窓口」を開設。被害（加害）者の背景（家庭環境・複合的課題）を踏まえ、関係機関と連携。
大阪府 堺市	臨床心理士等の専門職がこども本人を訪問し、意向や意見を直接聞くとともに、特性等にあつた対応を実施。
大阪府 八尾市	1人1台端末にいじめ報告相談用アプリを導入。福祉部門等の関係部局を始め、教育委員会とも連携。
大阪府 箕面市	市長部局に「いじめ相談・解決室」を新設し、いじめの初期段階から相談・調査を行う「行政的アプローチ」等を実施。
福岡県	知事部局にこどもいじめ専用窓口を開設し、県内の小・中・高等学校等の相談対応。県内市町と連携して対応。
熊本県 熊本市	市長部局に、こどもの権利に関する課題解決を図る組織を設置。こども食堂など地域の居場所の主任児童委員等と連携していじめ事案を早期把握。

いじめ調査アドバイザーの概要

1. 業務内容

【重大事態に係る調査の「第三者性の確保」の観点からの助言】

○いじめ防止対策推進法（以下「いじめ防対法」という）第28条に基づく調査又は第29条から第32条に基づく再調査について、学校設置者や自治体からの直接の要請に応じて「第三者性の確保」の観点から助言を行う。

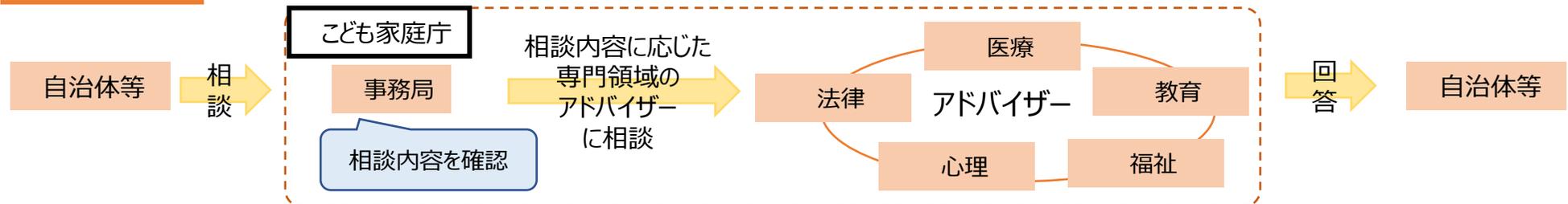
主な助言内容は以下を想定。

- ① 人選に係るアドバイスに関すること
 - ・事案に応じた職能団体の紹介
 - ・職能団体への適切な当たり方の助言
 - ※ その他、多様な職能団体との関係構築も含む
- ② 調査方法に関すること
 - ・中立・公平性のある調査方法の実施に関する相談対応

2. 運用方法

○法律、医療、教育、心理、福祉等の専門的知識を有する者を「いじめ調査アドバイザー」として委嘱し、「1. 業務内容」の助言業務を行う。

～相談イメージ～



※ 自治体等のニーズがあれば、アドバイザーとの直接の相談も柔軟に対応。

※ 調査委員会の人選や調査方法に係る助言を行うもので、アドバイザーが調査委員会に代わって直接事案の調査や調停等を行うものではない。

分野	氏名	所属
心理	石川 悦子	こども教育宝仙大学 教授
心理	石隈 利紀	東京成徳大学 教授
教育	伊藤 美奈子	奈良女子大学研究院生活環境科学系 教授
法律	栗山 博史	弁護士（神奈川県弁護士会所属）
福祉	中田 雅章	公益社団法人日本社会福祉士会 副会長
法律	森本 周子	弁護士（第二東京弁護士会所属）
教育	八並 光俊	東京理科大学教育支援機構教職教育センター 教授 日本生徒指導学会 会長
医療	渡辺 弘司	公益社団法人日本医師会 常任理事

令和5年度補正予算 : 4.1億円

令和6年度当初予算案 : 0.1億円 (2.1億円) ※ () 内は前年度当初予算額

1. 施策の目的

いじめを政府全体の問題として捉え直し、こども家庭庁、文部科学省など関係省庁の連携の下、こども家庭庁が学校外からのアプローチによるいじめ防止対策に取り組むことで、学校におけるアプローチ等と相まって、いじめの長期化・重大化防止、重大事態の対処の適切化を推進する。

2. 施策の内容

【(1) 学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の開発・実証】 (R5補正予算 : 4.1億円)

① 実証地域 (自治体の首長部局) での開発・実証

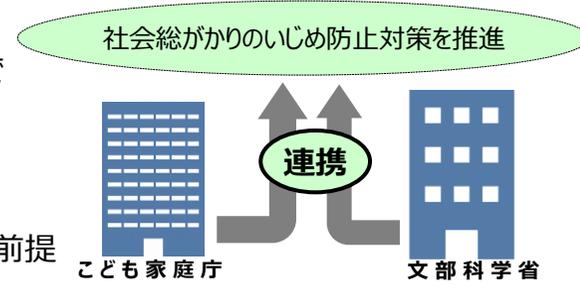
自治体の首長部局において、専門家を活用するなど、学校における対応のほかに、いじめの相談から解消まで関与する手法等の開発・実証を②と連携して行う。

(開発・実証イメージ)

- ・令和5年度に未実施の地域 (ブロック) や、都道府県レベルでの実証地域の拡充
- ・相談対応のみならず、首長部局がいじめ解消まで関与すること、関係部局等との連携体制を構築することを前提
- ・いじめの長期化・重大化を防止する観点から、以下のテーマ等にも重点的に取り組む
 - 学校以外の集団におけるいじめに対応するための体制構築 (認知時の情報共有、指導者等への研修など)
 - 被害児童生徒・保護者支援のための体制構築 (首長部局側が提供する適切な支援者が被害児童生徒・保護者の思いの整理や、教育委員会等との調整にあたるなど)

② 実証地域への専門的助言や効果検証及び重大事態報告書の分析等

①の実証地域における取組への専門的助言や効果検証の伴走支援等 (民間団体等に委託)



学校におけるアプローチの強化と相まって、いじめの長期化・重大化防止に資する首長部局における取組をモデル化

いじめ防止対策推進法に基づく適切な対応と相まって、重大事態に至った事案の適切な対処を推進

【(2) いじめ調査アドバイザーの活用】 (R6 当初予算案 : 0.1億円)

いじめ重大事態調査については、委員の第三者性確保の課題等により調査の着手が遅れるなど問題が指摘されており、調査の第三者性確保の観点から、法律、医療、教育、心理、福祉等の専門家をいじめ調査アドバイザーとして委嘱し、自治体等から寄せられた人選・調査方法に係る相談に対して、助言を行う。

3. 実施主体・委託先等

(1) ①実証地域 (首長部局) での開発・実証

【委託先】 都道府県、市区町村
【補助割合等】 委託費 (国10/10)

②実証地域への専門的助言や効果検証等

【委託先】 民間団体等 (1団体)
【補助割合等】 委託費 (国10/10)

(2) いじめ調査アドバイザーの活用

【実施主体等】 国が専門家に委嘱

(1)①実証地域	R5当初予算	R5補正予算
予算箇所数	8カ所	35カ所
補助率等	委託費 (国10/10)	委託費 (国10/10)

* 委託事業としては、令和7年度を目途に終了させる想定

令和5年度 こども若者★いけんぷらす 「いじめや不登校など学校に関する悩み事」についてのアンケート調査結果 いけんのまとめ

○調査概要

(1) 調査テーマ

いじめや不登校など学校に関する悩み事

(2) 調査対象

「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、令和5年4月2日時点で小学生世代～高校生世代の方

(令和6年4月1日時点で7歳から18歳の方)

(3) 回収状況

有効回答数 : 131件

(4) 調査方法

Googleフォームを用いたWEBアンケート調査

(5) 調査期間

令和5年8月28日～9月15日

(6) 調査実施者

こども家庭庁、文部科学省

(7) 設問内容

#	設問文	回答形式
1-1	これまで、インターネットを使ったいじめ(いわゆる「ネットいじめ」)を見たり聞いたりしたことはありますか？	単数回答
1-2	上記で「ある」と答えた場合、その内容をできる範囲で教えてください。無理に思い出したりしなくて大丈夫です。	自由記述
2	「ネットいじめ」など、ネット上のやりとりで何かトラブルを見聞きしたら、どのように対応しようと思えますか？その理由も教えてください。	自由記述
3	「ネットいじめ」の被害にあわないように気を付けていることがあったら教えてください。	自由記述
4	学校に関する悩みごとがあるとき、周りにどのように対応してもらいたいですか？その理由も教えてください。	自由記述
5-1	学校に関する悩みごとを誰かに相談する場合、どのような方法だと一番相談しやすいですか？あてはまるものを1つ選んでください。	単数回答
5-2	上記の相談方法を選んだ理由と、上記の相談方法でどのような人に相談したいと思ったかを教えてください。	自由記述
6	学校で配られるタブレット端末で、毎日の体調や気持ちを伝えたり、学校に関する悩み事を相談できるアプリを搭載する取組が進んでいます。どのような機能・工夫があればタブレット端末を活用した相談を行いやすくなりますか？	自由記述
7	例えば、あなたの友達がいじめられて困っているとします。いじめられている友達を助けるために、何が大事だと思いますか？その理由も教えてください。	自由記述
8	これまでいじめ防止のための授業や学校外の取組等のうち、どのような取組等が役に立ちましたか？その理由も教えてください。	自由記述

〈ネットいじめ〉

- ◆ これまで、いわゆるネットいじめを見たり聞いたりしたことがあると回答した割合は、小学生が29%(10件)、中学生以上が36%(35件)であり、「ある」と回答した中学生以上(35件)のうち、「SNSなど不特定多数が閲覧可能な媒体に自分の悪口を書かれた（又は他人の悪口が書かれているを見た）」(13件)が最も多い。【p4:設問1-1、1-2】
- ◆ また、ネット上のトラブルを見たり聞いたりしたら、どのように対応するのか、との問いに対し、小学生は「親に話す」(7件)、中学生以上は「信頼できる大人に話す」(24件)といった回答が最も多い。【p5:設問2】
- ◆ ネットいじめの被害に遭わないように気を付けていることについては、「書き込みをするときに、人を傷つける内容ではないか、個人情報が含まれていないかなどに気を付ける」といった回答が、小学生(8件)、中学生以上(25件)ともに最も多い。【p5:設問3】

〈学校に関する悩みごと〉

- ◆ 学校に関する悩みごとがあるとき、周りにどのように対応してもらいたいのか、との問いに対し、小学生は「周りから話しかけて欲しい、声をかけて欲しい、優しくして欲しい」(10件)、中学生以上は「自分の気持ちを理解して欲しい、話をしっかり聞いて欲しい」(21件)といった回答が最も多い。【p6:設問4】
- ◆ 悩みごとの相談方法については、小学生は「直接話す」(18件)が最も多く、続いて「メールで伝える」(6件)が多い。中学生以上は「直接話す」(43件)が小学生同様、最も多く、続いて、「SNSのチャットで伝える」(28件)が多い。
- ◆ 相談方法で「直接話す」を選んだ小学生のうち、選んだ理由は「気持ちが伝わる」(8件)、相談したい相手は「親」(6件)が最も多く、中学生以上のうち、選んだ理由は、「気持ちが伝わる」(19件)、相談したい相手は「学校の先生(学級担任など)」(15件)が最も多い。

- ◆ 相談方法で「メールで伝える」を選んだ小学生のうち、選んだ理由は「文字の方が伝えやすい、文字だと落ち着いて考えられる」(3件)、相談したい相手は「友だち」(2件)が最も多く、「SNSのチャットで伝える」を選んだ中学生以上のうち、選んだ理由は、「対面や電話などより、気軽に相談できる」(10件)、相談したい相手は「カウンセリングの専門家」(5件)が最も多い。
【p6-8:設問5-1】

〈タブレット端末を活用した相談〉

- ◆ 学校において、タブレット端末のアプリにどのような機能や工夫があれば、相談がしやすいですか、との問いに対し、小学生、中学生以上のいずれにおいても、「チャットで先生や友だちに相談できる機能」(小:5件、中以上:17件)、「データや相談内容を特定の人にしか見られないようにしてほしい」(小:4件、中以上:18件)といった回答が多数を占めた。また、中学生以上では、「アプリを使ったことが他人に分からないような工夫」(17件)といった回答も多い。【p9:設問6】

〈いじめられている友だちへの対応〉

- ◆ いじめられている友だちを助けるために、何が大事だと思うか、との問いに対し、小学生、中学生以上のいずれにおいても、「声をかける(気持ちに寄り添う、味方になるなどを含む)」(小:10件、中以上:27件)、「話を聞く、相談に乗る」(小:6件、中以上:29件)、「親や先生など周りの大人に伝える」(小:7件、中以上:23件)といった回答が多数を占めた。また、中学生以上では、これらに続いて、「いじめ防止のための法律や制度」(11件)が多い。【p10:設問7】

〈未然防止の取組〉

- ◆ いじめ防止のための授業や学校外の取組等のうち、役に立った取組等についての回答のうち、小学生、中学生以上のいずれにおいても、「特になし」(小:12件、中以上:25件)が最も多い。また、小学校では「学校の授業」(3件)が次に多く、中学校以上では、「学校の授業」及び「いじめ防止に係る標語、ポスター、動画など」(いずれも7件)が次に多い。【p11:設問8】

調査結果（設問 1 - 1, 1 - 2） 〈ネットいじめ〉

【設問1-1】これまで、インターネットを使ったいじめ（いわゆる「ネットいじめ」）を見たり聞いたりしたことはありますか？
あてはまるものを1つ選んでください。（単数回答）

【小学生】（計34件）

ない 24件（71%）	ある 10件（29%）
----------------	----------------

【中学生以上】（計96件）

ない 61件（64%）	ある 35件（36%）
----------------	----------------

【設問1-2】上記で「ある」と答えた場合、その内容をできる範囲で教えてください。無理に思い出したりしなくて大丈夫です。
（自由記述）

- ・SNSやネットゲームなど（不特定多数が閲覧可能な媒体）に自分の悪口などを書かれた（又は他人の悪口などが書かれているのを見た） 1件 13件
- ・グループ内のチャットに悪口を書かれた（又は友達の悪口などが書かれているのを見た） 1件 9件
- ・グループ内のチャットで、自分だけ無視された（無視されている友達がいた） 2件 8件
- ・自ら直接体験していないが、人（先生や友人など）からネットいじめについて聞いたことがある 1件 3件
- ・その他：2件、無回答：4件
- ・その他：7件、無回答：3件

※複数の内容に該当する回答については重複計上、以下同様

集計結果（設問2, 3） 〈ネットいじめ〉

【設問2】「ネットいじめ」など、ネット上のやりとりで何かトラブルを見聞きしたら、どのように対応しようと思いますか？その理由も教えてください。（自由記述）

	【小学生】	【中学生以上】
・親に話す	7件	14件
・学校の先生に話す	5件	18件
・信頼できる大人に話す	4件	24件
・友達に話す		5件
・警察やサイト運営者等に通報する	1件	11件
・ネットいじめを行っている人に直接やめるように伝える	6件	10件
・ネットいじめを受けている人に寄り添う	1件	6件
・無視する・対応しない（できない）	2件	11件
・証拠・情報を集める		8件
・よくわからない	2件	3件
・その他	3件	5件
・無回答	9件	15件
	計34件	計97件

【設問3】「ネットいじめ」の被害にあわないように気を付けていることがあったら教えてください。（自由記述）

	【小学生】	【中学生以上】
・ネットをつかわない（PC、スマホを持っていないので使えないを含む）	5件	13件
・ネットを見るだけにする（書き込みをしない）	2件	11件
・知らない人とつながらない、むやみに他人にアカウントなど個人情報を教えない	2件	24件
・書き込みをするときに、人を傷つける内容ではないか、個人情報が含まれていないかなどに気を付ける	8件	25件
・その他	8件	16件
・無回答	9件	19件
	計34件	計97件

集計結果（設問４） 〈学校に関する悩みごと〉

【設問４】学校に関する悩みごとがあるとき、周りにどのように対応してもらいたいですか？その理由も教えてください。（自由記述）

【小学生】（計34件）

- ・親に相談に乗ってもらいたい（具体的な解決方法を知りたい）
1件
- ・学校の先生に相談に乗ってもらいたい（具体的な解決方法を知りたい）
2件
- ・友達に相談に乗ってもらいたい（具体的な解決方法を知りたい）
- ・誰かに相談に乗ってもらいたい（具体的な解決方法を知りたい）
6件
- ・自分の気持ちを理解して欲しい。話をしっかり聞いて欲しい
4件
- ・周りから話しかけて欲しい、声をかけて欲しい、優しくして欲しい
10件
- ・そっとしておいてほしい（人から関わられたくない）
2件
- ・いじめている人を止めて欲しい。二度と起きないように対応してほしい
2件
- ・学校の先生以外の大人（他校の先生、スクールカウンセラーなど）に相談に乗ってほしい（学校には知られたくない）
2件
- ・その他：2件、無回答：8件

【中学生以上】（計112件）

- 3件
- 9件
- 5件
- 19件
- 21件
- 4件
- 5件
- 13件
- 5件
- ・その他：7件、無回答：21件

集計結果（設問5-1、5-2①） 〈学校に関する悩みごと〉

【設問5-1】学校に関する悩みごとを誰かに相談する場合、どのような方法だと一番相談しやすいですか？
あてはまるものを1つ選んでください。（単数回答）

	【小学生】	【中学生以上】
①直接話す	18件	43件
②電話(音声)だけで話す	3件	10件
③ビデオ電話で話す		1件
④手紙やハガキで伝える		4件
⑤メールで伝える	6件	7件
⑥SNSのチャットで伝える	3件	28件
・その他	3件	2件
・無回答	1件	2件
	計34件	計97件

【設問5-2】上記の相談方法を選んだ理由と、上記の相談方法でどのような人に相談したいと思ったかを教えてください。
（自由記述） → 「①直接話す」を選択

	【小学生】	【中学生以上】
選んだ理由		
・気持ちが伝わる	8件	19件
・相手の表情が見える	1件	10件
・手紙やメールだと気持ちや考えをうまくまとめられない	2件	2件
・SNSやチャットを使わない	1件	
・その他	5件	4件
・無回答	2件	12件
相談したい相手		
・親	6件	8件
・学校の先生（学級担任など）	2件	15件
・カウンセリングの専門家	3件	2件
・信頼できる大人（他校の先生など）	2件	4件
・友だち	1件	5件
・その他		8件
・無回答	9件	11件

集計結果（設問5-2②）

〈学校に関する悩みごと〉

【設問5-2】上記の相談方法を選んだ理由と、上記の相談方法でどのような人に相談したいと思ったかを教えてください。
（自由記述） → 「②電話（音声）だけで話す」を選択

選んだ理由

- ・直接会うと緊張して話しづらい
- ・顔が見えると相手の反応が気になる
- ・顔は出したくないけど、文面ではうまく伝わらない
- ・その他
- ・無回答

【小学生】

1件

1件

1件

【中学生以上】

2件

1件

3件

3件

2件

相談したい相手

- ・自治体等の相談窓口
- ・友だち
- ・その他
- ・無回答

1件

2件

1件

2件

1件

2件

3件

4件

【設問5-2】 → 「③ビデオ電話で話す」を選択

選んだ理由

- ・顔を見て話せる、話しくなくなったらいつでも終われる

【中学生以上】

1件

相談したい相手

- ・学校の先生に改善を要求できる外部の人（スクールカウンセラー）

1件

【設問5-2】 → 「④手紙やハガキで伝える」を選択

選んだ理由

- ・直接会うと緊張して話しづらい
- ・顔が見えると相手の反応が気になる
- ・手書きだと落ち着いて考えられる、何度でも読み返せる

【中学生以上】

1件

1件

2件

相談したい相手

- ・学校の先生
- ・カウンセリングの専門家
- ・信頼できる大人（他校の先生など）
- ・友だち

1件

1件

1件

1件

集計結果（設問5-2③）

〈学校に関する悩みごと〉

【設問5-2】上記の相談方法を選んだ理由と、上記の相談方法でどのような人に相談したいと思ったかを教えてください。
（自由記述） → 「⑤メールで伝える」を選択

選んだ理由	【小学生】	【中学生以上】
・直接会うと緊張して話しづらい	1件	4件
・顔が見えると相手の反応が気になる	1件	
・文字の方が伝えやすい、文字だと落ち着いて考えられる	3件	
・気軽に伝えられる		4件
・その他	1件	
・無回答		1件
相談したい相手	【小学生】	【中学生以上】
・親（家族）	1件	
・友だち	2件	
・信頼できる大人（他校の先生など）		2件
・その他	2件	1件
・無回答	1件	4件

【設問5-2】 → 「⑥SNSのチャットで伝える」を選択

選んだ理由	【小学生】	【中学生以上】
・親などに知られずに相談できる	1件	3件
・専門家など信頼できる人に直接相談できる	1件	1件
・対面や電話などより、気軽に相談できる		10件
・自分の情報を明かさなくてよい		5件
・その他	1件	1件
・無回答		11件
相談したい相手	【小学生】	【中学生以上】
・学校の先生		2件
・カウンセリングの専門家	1件	5件
・自治体等の相談窓口		1件
・信頼できる大人（他校の先生など）		2件
・友だち（同年代の人）		2件
・その他	2件	8件
・無回答		9件

集計結果（設問6）〈タブレット端末を活用した相談〉

【設問6】学校で配られるタブレット端末で、毎日の体調や気持ちを伝えたり、学校に関する悩み事を相談できるアプリを搭載する取組が進んでいます。どのような機能・工夫があればタブレット端末を活用した相談を行いやすくなりますか？（自由記述）

【小学生】（計34件）

- ・チャット機能などにより、先生や友達などに相談できるようにする
5件
- ・相談したい相手とつながることができる
3件
- ・タブレットを使える雰囲気や環境・機会を整備する
2件
- ・回答しやすいデザイン・文章にする（自由に回答できるようにする）
2件
- ・毎日のデータ入力は面倒なので、選択回答やスタンプなど手間がかからないようにする
3件
- ・データや相談内容を秘密にしてほしい（特定の人にしか見られないようにする）
4件
- ・アプリを使ったことが他人に分からないような工夫
2件
- ・自分のスマホなどでも対応できるようにする
- ・その他：7件、無回答：8件

【中学生以上】（計97件）

- 17件
- 13件
- 9件
- 6件
- 15件
- 18件
- 17件
- 5件
- ・その他：12件、無回答：14件

集計結果（設問 7, 8）〈いじめられている友だちへの対応、未然防止の取組〉

【設問 7】例えば、あなたの友達がいじめられて困っているとします。いじめられている友達を助けるために、何が大事だと思いますか？その理由も教えてください。（自由記述）

	【小学生】	【中学生以上】
・声をかける (気持ちに寄り添う、味方になるなどを含む)	10件	27件
・話を聞く、相談に乗る	6件	29件
・そっとしておく (相手の気持ちを汲んで無理に話を聞かない)	1件	3件
・親や先生など周りの大人に伝える	7件	23件
・いじめ防止のための法律や制度		11件
・加害者からも話を聞く		6件
・その他	5件	6件
・無回答	7件	17件
	計34件	計97件

【設問 8】これまでいじめ防止のための授業や学校外の取組等のうち、どのような取組等が役に立ちましたか？その理由も教えてください。（自由記述）

	【小学生】	【中学生以上】
・学校の授業	3件	7件
・学校のいじめアンケート調査	2件	5件
・学校における、授業以外の行事など（学年集会、外部講師の講話など）		5件
・いじめ防止に係る標語、ポスター、動画（番組、ネット）など	2件	7件
・自分で調べた情報、資料	1件	1件
・特になし	12件	25件
・その他	2件	12件
・無回答	12件	38件
	計34件	計97件